



今明ける小豆島町の新年

No. 79  
Winter

# しょうどしま 議会 だより

contents

審議議案

12月定例会

一般質問

8人の議員が質問

視察研修報告

2026 令和8年2月1日発行

小豆島町



## 令和7年第4回定例会(12月11日・12日 2日間)

本定例会では、予算案件4件、条例案件8件、指定管理者の指定案件5件、その他案件2件のほか発議1件が提案され、慎重審議の結果、議案は全て原案通り可決されました。

### 《一般会計補正予算》

(総額2億4686万円)

#### ◎合併20周年記念イベント

開催・観光ナイトコンテンツ造成事業  
(1億1000万円)

令和8年3月21日に、小豆島町合併20周年を迎えることから企業版ふるさと納税を活用し、記念イベントを行うものです。また、夜型観光推進に向け、打ち上げ花火やドローンショーなどを行うものです。



#### ◎こどもセンター施設設備

修繕事業 (605万円)

厨房機器・温水器・保育室畳の修繕を行うものです。

#### ◎池田体育館修繕事業

(380万円)

遮光用電動カーテンおよびトイレスライド式扉の修繕に係るものです。



池田体育館

#### ◎中山分館修繕事業

(368万円)

歌舞伎倉庫へ用途転用するため、内部修繕を行うものです。



中山分館

#### ◎学校施設修繕事業

(106万円)

池田小学校のプールろ過ポンプ修繕、グラウンド野球ベンチ上屋が老朽化していることから撤去するものです。また、中学校では、体育館電動カーテンを修繕するものです。

#### ◎寒霞溪無料シャトルバス

運行事業 (300万円)

想定を上回る需要があることから、11月末までの運

行期間を、ロープウェイ運休期間以外、毎日運行するものです。



寒霞溪無料シャトルバス

#### ◎サン・オリーブ施設修繕事業

(145万円)

屋上湯気排出塔が蒸気等による経年劣化でコンクリート爆裂等を生じていることによる修繕です。



サン・オリーブ

#### ◎小豆島ふるさと村修繕事業

(284万円)

キャンプ場オートキャンプ4棟へのエアコン設置、大プール循環ろ過ポンプ修繕、室生体育館照明交換等を行うものです。



小豆島ふるさと村キャンプ場のオートキャンビン

#### ◎池田斎場駐車場舗装改良事業

(458万円)

陥没箇所の路盤改良を含む舗装修繕です。

#### ◎学校給食事業

(1496万円)

物価高騰に伴う賄材料費(食材費)の不足額です。



## 《条例の制定・廃止》【教育民生常任委員会付託】

【乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例等】

令和8年度からこども誰でも通園制度の導入に伴う受入施設の基準等を定めるものです。

【奨学資金貸付制度等の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例】 および 【准看護師修学資金貸付条例】

現在の奨学資金貸付制度の見直しにより、令和9年度から、「奨学資金貸付条例」および「保健医療福祉関係職修学資金貸付条例等」を廃止します。そして新たに准看護師のみ町で貸付条例を制定するものです。

※この条例は、8対4の賛成多数で可決されました。

### 【反対討論】

安井議員・鍋谷議員

国の制度は所得要件や成績要件があり、子育て施策の後退となる。

### 【賛成討論】

藤本議員・大下議員

日本学生支援機構で借りた人が島で就職し、町内に居住することで、翌年度から返還額への補助もあり、UIJターンにつながる。



討論の様子

## 《条例の一部改正》

【議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例】

公職選挙法施行令の改正に伴い、選挙活動時のポスター等作成に係る公費負担額を改正するものです。



## 《その他》

【小豆島町道路線の変更】

北条地区更新住宅整備事業により町道児童館線の一部を変更するものです。

## 《指定管理者の指定》

※令和8年4月1日から令和13年3月31日

町の施設	指定管理者
小豆島産業会館	小豆島醤油協同組合
小豆島ふるさと村	(一財)小豆島ふるさと村
小豆島オリーブ公園	(一財) 小豆島オリーブ公園
小豆島オートビレッジYOSHIDA	
小豆島町健康生きがい中核施設(サン・オリーブ)	



## 第4回 臨時会

(10月31日)

予算案件1件、契約案件2件が提案され、全ての議案を原案通り可決しました。

## 《契約の変更》

町道小高西線道路改良工事において、現場精査による金額の変更です。

### ◎1工区

変更前 4719万円

変更後 6063万2千円

### ◎2工区

変更前 4620万円

変更後 5277万8千円



拡幅後の町道小高西線

# 町政へ

# 一般質問

議員が行政全般にわたり、住民の声や自身の調査研究をもとに、町長や教育長などの執行機関に対し、事務の執行状況や方針などについて質問したり、報告や説明を求めたりすることです。



質問内容	質問者	掲載ページ
▷重点支援地方交付金をどう考える	安井 信之	5 ページ
▷行政運営のスピード化を		
▷オーリーブトップワンの取り組みは	川井 茂	6 ページ
▷草壁・高松航路の位置付けは	中川 光秋	7 ページ
▷統合小学校へ常駐看護師配置を		
▷交通弱者の移動支援拡充を	鍋谷真由美	8 ページ
▷こどもの遊び場を		
▷物価高騰からくらし守る施策を		
▷スーパー等で投票所設置を	三木 卓	9 ページ
▷投票所の環境にもう少し配慮を		
▷農地後継者の問題は	高橋 淳	10 ページ
▷2次交通の整備を		
▷古文書等の保管、閲覧等の現状は	高尾 豊弘	11 ページ
▷内海地区幼稚園・保育所の統合は	羽田 満	12 ページ
▷体育施設等あり方方針の見直しは		
▷西村草壁農免道路バイパス構想は		

## ≡ 動画配信中 ≡

本会議での一般質問の様子を『YouTube』で録画配信しています



こちらから

## ≡ 傍聴できます ≡

本会議はどなたでも傍聴できます  
『傍聴』を希望される方は、本会議当日に、議会事務局までお越しください



こちらから



やす い のぶゆき  
安井 信之



質問者の動画は  
こちらです

問

重点支援地方交付金を  
どう考える

答

経費をかけない支援策を検討

問 地域の実情に応じた物価高騰対策として、重点支援交付金が提唱されている。実施の場合の財政規模や使い道は。

答 本町への交付限度額は、現時点では未定だが、国の2兆円という額を参酌すると、少なくとも1億円を超える額と推測している。

使い道は現状未定だが、その一つとしてお米券の配布など生活者

への食料品の物価高騰に対する支援を行うことが必須となる見込みである。

問 お米券は、地域の実情に合わず、経費もかかる。経費をかけず住民へ配布することがベストでは。

答 可能な限り事務経費がかからないシンプルなか仕組みが良いと考えている。今後、物価高騰の影響を受ける住民

の皆様や事業者の支援策について、土庄町とも連携を図りながら事業化を検討する。

問

行政運営の  
スピード化を

答

スピード感をもって  
業務に当たる

問 デジタル化により、利便性を感じているが、行政は紙媒体の運用である。スピード感をもって対応すべきでは。

答 業務の効率化や住民サービスの向上は、行政運営において常に意識している。

デジタル化の推進は、事務作業や窓口業務の軽減だけでなく、時間を気にせず行政サービスが活用でき、大変役立つ仕組みである。昨年度に汎用的電子申請システムを導入し、各種申請やアンケートをオンラインで行っているが、デジタル技術の活用は、年代や個人的スキルの格差が大きく、特に高齢化が著しい本町では、デジタル化の推進に困難がある。

問 防犯灯の交換の際は、安全・安心のため早めの対応をすべきでは。

答 事務決裁は、規程に基づき、おおむね1日で完了する。住民の安全・安心を守っていく施策なので、メール、電話等に対応することも可能である。



取り換えられた LED 照明





かわい しげる  
川井 茂



質問者の動画は  
こちらです

## 問 オリーブトップワンの 取り組みは

答 トップワンを維持していく

問 今年、新漬け用オリーブ出荷量の増大により、荷受期間を短縮し、750円、800円のオイル用果実価格が400円に変更された。この相次ぐ変更により、A出荷農家の精神的、経済的ダメージは大きく、来年の栽培を断念する農家も出てくるとの声を聞く。

答 リーブトップワンプロジェクトの目指す方向に逆行していると考えられる。栽培拡大を奨励してきた町として、本年に限り金銭的な支援が必要でないか。

問 今回の問題点は、隔年ごとの収穫量に差が大きいこと、また小豆島産オリーブオイルの販売が低迷であることだと考えられる。販路の拡大や収穫量の変動にも対応できる新たな体制づくりが必要では。

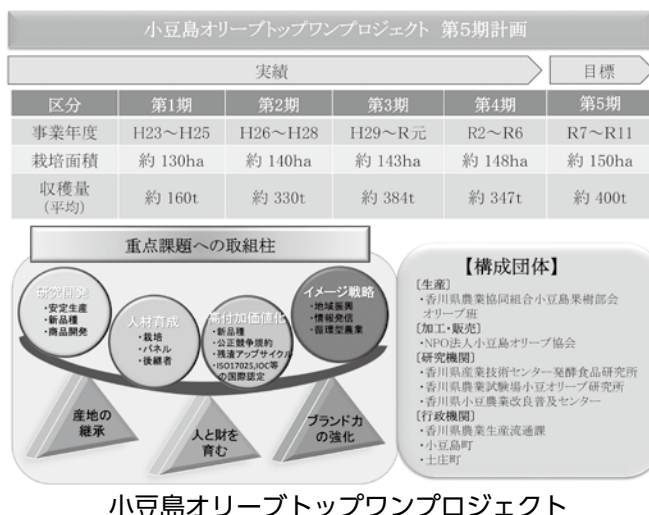
答 収穫量調整は難しいが、今後もオリーブ研究所や普及センターの研究者、普及員等専門

町も今年度限り1キロ100円の緊急支援を行い、JAにも出荷手数料、施設手数料等の合計43・77円を生産者に全額還元する協力を得た。

職による講習会で隔年結果の差を少なくする栽培方法の啓発に努めていく。

販路拡大は、ふるさと納税制度などに取り組む。今後企業と協力して、地道な販路拡大に努める。

組んでいるが、各企業の営業活動により販路開拓の余地はある。





なかがわ みつあき  
中川 光秋



質問者の動画は  
こちらです



## 草壁・高松航路の 位置付けは

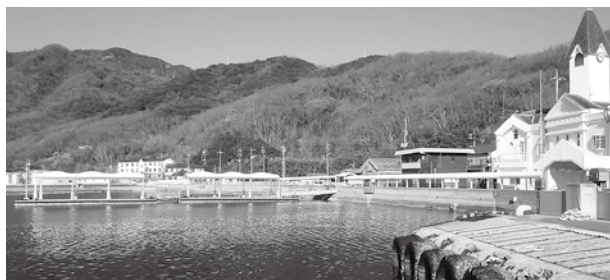


今後も交通体系の一つ

**問** 草壁・高松航路は4年以上休止が続いている。一方で町は国の制度上の指定区間を「維持」としており、「再開は困難」としながら指定区間を維持する姿勢は、住民から見れば大

**答** 草壁・高松航路は、今後も島の交通体系の一つとして位置付けている。指定区間は、朝夕のみ運航するようなダイヤの「いいとこ取り」を防ぎ、航路の持続性と住民の利便性を確保するための制度である。指定区間を廃止すれば、住民生活に必要な航路ではないと町・県・国が認めることになるため、現時点

きな矛盾である。町はこの航路を将来の交通体系の中でどのように位置付けているのか、また指定区間を維持する理由は。



草壁港

では維持したい。再開は現時点では困難だが、将来の可能性は否定せず、観光振興や草壁港の活性化を進め、事業者が現れる機会を待ちたい。



## 統合小学校へ 常駐看護師配置を



個別対応で支援する

**問** 全国的に医療的ケア児や重度アレルギー児が増加し、学校に求められる医療対応のレベルは高まっている。統合小学校は規模も大きくなり、養護教諭1人体制では限界との声もある。障害者差別解消法に基づく合理的配慮として、看護師を常駐配置すべきでは。

**答** 合理的配慮とは、障害のある子どもが平等に教育を受けるため、個別に必要な支援を行うことであり、町では就学前健診や5歳児健診を通じ、慎重に判断している。現在、統合小学校に医療的ケア児の在籍予定はなく、学校規模から常勤看護師の配置は現実的ではないが、今後も児童の状況や保護者の要望を踏まえ、必要な支援を行う。



なべたに まゆみ  
鍋谷真由美



質問者の動画は  
こちらです

## 問 交通弱者の 移動支援拡充を

答 制度の拡充を検討中

問 高齢者、要介護者、障がい者などバス利用が困難な人は、タクシーを利用せざるを得ないが、町の支援策は通院のみの補助である。住民の移動の自由を保障し、健康を維持し、経済的負担軽減のため、通院以外も補助することが必要では。

答 買物など通院以外でも日常生活でタクシーが利用できる通院困難



タクシーでの通院

者支援制度の拡充を来年度に向け検討中。

## 問 こどもの遊び場を

答 KiSPa! の常設を検討

問 子育て中の保護者からは、安心して子どもが遊べる場の要望が多い。天候に左右されず屋内で遊べる場が必要では。また、気候の良い時には外遊びも子どもの成長にとって必要



安田の馬場公園

不可欠である。特に安田の馬場公園は、図書館に隣接し、多くの親子が利用する人気の公園である。国道拡張工事で遊具を撤去するが、その後の予定は。

答 小学校跡地活用の中で、KiSPa! の常

設も検討したい。工事完了までの約2年程度はほかの公園を利用いただき、完了するまでに新たな設置場所等を自治会や、関係者の皆さんと協議したい。

こちらも  
質問

問

物価高騰から

くらしを守る施策を

答

シンプルな支援を検討





み き たかし  
三木 卓



## 問 スーパー等で 投票所設置を

**答** 現状では考えていない

**問** 投票率向上のため、スーパーやコンビニ等で投票所を設けてはどうか。

そのため設置は考えていない。啓発活動により、現在の投票所の利用促進を行う。

**答** 町内商業施設に投票所を設置するためには、スペースの確保や投票用紙の適切な保管、投票管理者等のスタッフ不足、投票所増設に伴う多額の費用等の様々な問題がある。



## 問 投票所の環境に もう少し配慮を

**答** 音が軽減できる下敷きを置く

**問** 投票用紙に名前を書く音で、誰を書いているのかばれそうで嫌だという声を聞く。BGMをかけている投票所がすでに全国で存在しているが取り入れられないか。

**答** 全国状況を見ると、緊張感の緩和を目的にBGMを流している事例がある。ただ、BGMを流すことで苦情につながった例もある。次回の選挙より、弾力性のある下敷き等を各投票所の記載台に置く。

**問** 携帯電話で音楽をかける行為はどうか。  
**答** 公職選挙法第60条の投票所における秩序保持に抵触するおそれがあり、投票管理者より注意を促すことになる。

**問** メモ帳を持ち込み、それを下敷きに使用することはできるか。

**答** B5サイズ程度のメモ帳であれば原則として問題ないが、状況により確認をさせていただく可能性がある。



たかはし じゅん  
高橋 淳



質問者の動画は  
こちらです

## 問 農地後継者の問題は

### 答 農地が守られるよう取り組む

問 農地後継者が決まってい  
ない農地が全国で31・7%、香川県は71・9%。このまま推移すると現状の50%以上の農地が耕作放棄地になる。農地後継者の確保が必要では。

答 町の後継者未定の農地は78%になっている。担い手の確保は重要な課題である。町内の守るべき農地は308軒と考えているが、今後

も地域計画に基づき、関係団体や県とも連携し、農地の適切な維持管理と担い手育成の両面からの対策に取り組む、少しでも多くの農地が守られるよう取り組む。

問 オリーブの栽培面積も農地面積に占めるウエートが大きい。今年は大豊作になり問題が出ている。果実やオイルの保存方法を、オ



農地の担い手確保へ

リーブ研究所、発酵食品研究所等で確立し、対策を取る必要があるのではないか。

答 大豊作の時に、生産者も業者も困るので、対策について県とも協議しながら検討していく。

## 問 2次交通の整備を

### 答 多様な手段で確保する

答 オリーブバスについては、持続可能な運行体制の構築に向け全面的に支援を行う。交通事業者とは、協議をしているが、協力は得られていない。路線バスを基幹的な公共交通として維持し、バスで担えない部分は、多様な手段で補完し、移動手段を確保して行く。

問 オリーブバスは減便、タクシードも午後9時までの運行である。バスの便数を確保する支援や、地域交通を補完する手段を考える必要があるが町長の見解は。



オリーブバス





たか お とよ ひろ  
高尾 豊弘



質問者の動画は  
こちらです

問

古文書等の保管、  
閲覧等の現状は

答

適正に保管、原則公開していない

問 歴史資料は、地域の歴史を物語る大切なものであり、これらを保存し、将来に継承していくことは大変重要なことと考えるが。

答 現在の保管場所は、町有のものは勤労青少年ホームの旧事務室に古文書保存用の封筒や専用箱の中で保管している。

問 本町では、平成25年度から平成30年度にかけて古文書等調査保存事業を実施し、町が所蔵する古文書類のほか、広く住民にも呼びかけて、旧家で所有している古文書について

問 古文書類は、どういった形で保管されているのか。

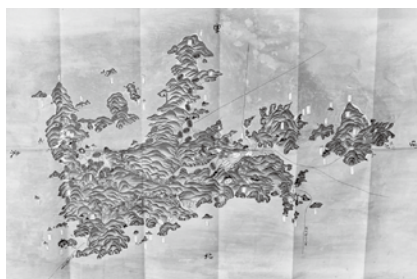
問 住民の求めに応じて閲覧することはできるのか。

答 配慮すべき情報が含まれるおそれがあることから、原則公開はしていない。

しかし、歴史等の研究や他の資料館での展示が目的の場合など、目的が適正と判断した際は、写真などで閲覧することや貸し出しすることも可能と考えており、生涯学習課に相談いただきたい。

問 これからも企画展等を行っていく予定はあるか。

答 町広報で連載している小豆島町の文化財に併せて、ミニ企画展として令和2年度から図書館の郷土資料室等で企画展示を行っている。町が所有している古文書や絵画、民俗資料、



岡田（八木）家文書



池田村検地帳

考古資料等を分かりやすく解説し、旧池田村庄屋家である岡田家文書展を行っている。この企画展は、文化財保存活用地域計画にもあり、地域の宝物に触れることができる貴重な機会となっている。引き続き、古文書等の資料を用いた企画展示を実施したい。



は だ みつる  
羽田 満



質問者の動画は  
こちらです

## 問 内海地区幼稚園・ 保育所の統合は

答 認定こども園として整備

**問** 内海地区幼稚園・保育所の統合は喫緊の課題だが、どう考えているのか。

**答** 幼稚園・保育所の統合は、認定こども園として整備を進めたい。

まずは、総合教育会議において、認定こども園の整備を進めることと、建設場所を決定したい。建設候補地については、町有地の有効活用と十分な面積の確保等の観点から、統合後の3小学校跡地が有力な候補地になると考えている。既存建物の解体撤去が令和9年4月の統合小学校開校の後になることから、現段階では令和11年4月の開園を目標に進めたい。

## 問 体育施設等 あり方方針の見直しは

答 検討委員会を設置する予定

**問** 統合後の各小学校を含め社会体育施設のあり方方針の見直しはどう進めるのか。

**答** あり方方針で3施設（中山体育館・青少年ホーム・内海体育館）は廃止の方向である。

今後は小学校跡地等の活用もあり、別途公民館も含め教育施設全体のあり方について、役場内にワーキンググループを設置し、その

問

西村草壁農免道路  
バイパス構想は

答 毎年県等に要望している

議論を踏まえ、検討委員会を設置する予定である。  
公民館は、老朽化の問題もあり早急な方向性をとを考えているが、地元の意向を伺い検討する。

**問** 廃止方針の勤労青少年ホームの進捗状況は。

**答** 廃止等の時期は、検討委員会での協議後となる。なお、漏水の件は検討中である。



勤労青少年ホーム



## 行政視察報告

11月5日から7日まで総務建設【宿泊税（松江市）】・教育民生【複合型子育て拠点施設（日吉津村）・新しい教育モデル（広島県）】常任委員会合同視察研修を行いました。

### 「松江市宿泊税」

人口…192,646人  
面積…572.96km<sup>2</sup>  
【11月末時点】

松江市では、令和5年2月にMATSUE 観光戦略プランを策定、観光振興を図る財源を検討するためとして、「新たな観光財源検討委員会」を組織し、宿泊税を令和7年12月1日から導入することとなりました。

宿泊税の使途は、観光戦略プランの主要な事業や新規・既存の事業の拡充、効果的な継続事業に対しての

財源としています。また、導入にあたり宿泊事業者への支援（レジシステム改修補助や特別徴収事務の負担軽減措置等）を実施することになっています。

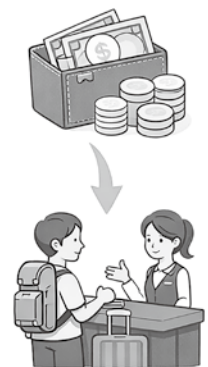
#### ◆研修を終えて

令和5年度以降小豆島町では土庄町とともに「島はひとつ」として共通課題に取り組んでいます。観光事業の果たす役割は大きく、持続可能な島づくりのため、安定的、持続的な財源確保ができるよう、宿泊税の検討が進められています。島の未来に役立つよう充分検討していきます。



松江市役所での研修

松江市宿泊税の概要	
①課税客体	松江市宿泊施設への宿泊行為
②納税義務者	宿泊者
③特別徴収義務者	旅館業又は住宅宿泊事業の経営者
④税率・免税点	1人1泊につき200円（5千円未満は免除）
⑤課税免除	修学旅行等の参加者（引率者含む）



※宿泊税とは、宿泊者に原則として課税され、施設事業者が税を徴収し、自治体へ申告・納入するものです。

### 複合型子育て拠点施設 「ミライトひえび」

（日吉津村）

人口…3,590人  
面積…4.2km<sup>2</sup>  
【12月1日時点】

#### ◆研修を終えて

鳥取県日吉津村では、令和4年9月に安心して子育てができる拠点として、子育て支援センター、こども園、児童館、ファミリーサポートセンター、民俗資料館の機能を併せ持つ複合型子育て拠点施設がオープンしました。

#### ◎ミライトひえび 特色

- ①0歳から学童期までの施設を集約し、子育ての見える化で不安を解消。
- ②幼児教育から学校教育への円滑なつながり。
- ③ミライト総括室で資源（人材・施設）の有効活用。
- ④地域の先生の協力によるふるさと教育の推進。
- ⑤幼児教育・保育の充実。



日吉津村「複合型子育て拠点施設」

## 新しい教育モデル

### 「広島県立広島叡智学園えいちの取り組み」

(大崎上島町)

人口…6,683人  
面積…43.11km<sup>2</sup>  
【11月末時点】

広島県では、平成26年に広島版「学びの変革」アクションプランを作成。グローバル化の進展によりますます変化し、複雑、高度になる社会の諸課題に対応できる人材育成のため、新たな教育モデルを構築し、県内へ広げようとしています。

その実践校として、平成31年4月に広島県立広島叡智学園が開校されました。知識を活用し、協働して新たな価値を生み出すことを重視した、主体的な学びを推進することを目標とし、生徒たちが日々学んでいます。

#### 【広島叡智学園概要】

中高一貫校で全寮制。

国際バカロレアプログラムを履修し、最終試験に合格することで、国際的に認められる大学入学資格



広島県議会での座学研修

(IB) および高校卒業資格が得られる。授業は、英語・数学が英語で行われ、その他の科目は日本語・英語での受講が選択できます。

#### ◆研修を終えて

離島の大崎上島町にある新しい形態の中高一貫校には、全国から生徒が集まっています。公立校ではあるが、思い切った教育改革、新しい取り組みを実践し、生徒と地域との交流も行われ、地域の活性化にもつながっています。

小豆島でも生徒が集まるような学校づくりや島での生活をサポートする制度など参考にしたいです。

#### 【常任委員会の開催】

#### ▼教育民生常任委員会(10月31日)

「奨学金制度について」(健康づくり福祉課・こども教育課)

#### 【視察の受入れ】

「持続可能な観光づくり」「文化・アートによる地域活性化」

(兵庫県丹波篠山市議会日本維新の会丹波篠山)

「ICTを活用した学校教育」

(熊本県水俣市議会厚生文教委員会)

#### 編集後記



▼早いもので前回の町長・町議選から4年が過ぎ、4月7日告示・12日投票で、町長・町議会議員選挙が行われます。

▼4年間を振り返り、町議の役割について思う事があります。

▼町議の仕事は、町の方針を議論し町の方針を定めること。町政に町民の皆さんの意見を反映させることの2つがあると思います。

▼町議会の役割は、町長・町職員と共に町政を前に進めることと、町民代表として町政の監視役になることだと思っています。

▼来るべき4月の町議選では、小豆島町を良くしたいという思いを持った候補者を選び、活発な町議会を作り、発展する小豆島町を実現出来るよう願っています。

高橋 淳 記

本紙に対する  
お問い合わせは

■発行 小豆島町議会 ■編集 小豆島町議会広報編集特別委員会

〒761-4492 香川県小豆郡小豆島町片城甲44-95 TEL (0879) 82-7060 FAX (0879) 82-7061  
E-mail olive-gikai@town.shodoshima.lg.jp